



障がいのある人の雇用に取り組む



社会福祉法人

同 和 園

(京都市伏見区)

「京都はあとふる企業」です

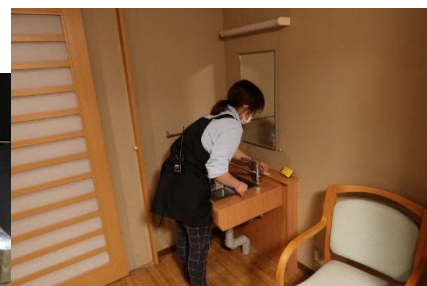
【主な事業内容】 高齢者福祉事業

【障がいのある人の主な仕事】 配膳、食器等の洗浄、清掃、ランドリー、マッサージなど

【障がい者雇用の経緯】

就労移行支援事業所に協力していただき施設内に喫茶・売店を開設した時、そこで働く障がい者の姿を見て、施設でも働けるのではと認識を新たにし、平成19年より障がい者雇用を本格的に開始しました。最初は就労移行支援事業所と共に食堂での配膳から始め、厨房での洗浄(食器等)、施設内や庭などの清掃と広げ、現在では、ランドリー(洗濯・集配)、デイサービスでの機能訓練(マッサージ等)も担っています。

現在は、13人の障がいのある人が働いています。各自の特性に応じた仕事を担当してもらっています。



【Oさんに聞きました】

7年目になります。実習の時、覚えることが多くて大変だけど出来ると思った。ランドリーの仕事をしています。仕分けの時、名前を見なくても誰の洗濯物か分かり(入居者400名)、頼りにされるので嬉しい。一人暮らしをしたいので、自炊や洗濯・掃除にチャレンジしています。

【Hさんに聞きました】

まだ4ヶ月目です。職業訓練を経て、昨年実習を受けました。職員とジョブコーチの両方からサポートを受け、ベッドメイキングが出来た時の達成感が忘れられない。仕事は介護補助でベッドメイキング、配膳、食器洗い、居室の掃除などです。入居者に手伝ってもらった時は嬉しいです。続けられそうなので喜んでいきます。

【ネットワークを基礎とした相談体制づくり】

家族や支援機関、主治医等とのネットワークを基礎とした相談体制づくりを目指しており、特に家族とは、普段から相談しあえる関係を構築するようにしています。職業生活相談員が定期的に仕事の状況を把握し必要な作業支援を行います。

年1回、自己・家族・同僚又は上司・障がい者担当の多角的評価と面談を行い、1年間の目標づくりに取り組みます。

通院時や体調不調時には勤務時間の配慮を行います。また、体調などの変化に合わせた業務の変更も行います。

今後は障がい者雇用の枠組みは維持しつつ、業務分析を通して適切な業務があれば拡充していきます。体験実習などにも積極的に取り組んでいきます。

令和3年4月取材